

福島県農業総合センター農業短期大学校

# アグリカレッジ福島

FUKUSHIMA AGRICULTURAL COLLEGE

令和8年度  
学校案内

花を咲かせ  
果を実らせて  
地球を肥やせ



福島県農業総合センター農業短期大学校  
(愛称：アグリカレッジ福島)

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地 1  
Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553  
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

アグリカレッジ福島

🔍 検索



本館及び研究実験棟



情報処理演習室



農産加工技術センター



食堂



アグリ探求棟



学生寮



屋外作業準備棟 洗面室・シャワー室



機械格納庫



牛舎



園芸施設



運転練習コース

## 「スマート農業トレーニングフィールド」が完成しました！

本施設は、施設全体をネットで覆った構造のため、航空法に基づく飛行の許可・承認手続きを要せず、ドローンを用いた操作訓練や液体散布訓練などを実施することができます。



## 農業経営部

### 水田経営学科

◆ 修業期間：2年

◆ 定員：1学年60名

水田・野菜経営学科：15名程度

果樹・花き・畜産経営学科：10名程度

### 野菜経営学科

### 果樹経営学科

◆ 受験資格：

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者(見込含む)

(2) 高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者

※一般入校試験では「社会人等」の入試区分も設けています。

### 花き経営学科

◆ 本校は、学校教育法に基づく専修学校に位置付けられています。

(1) 卒業生は「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されます。

(2) 四年制大学への編入学試験を受験することができます。

(3) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の利用が可能です。

### 畜産経営学科

## ■ 学校目標

実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成する。

## ■ 教育の特色

### 1 多彩な農畜産物等を学ぶ経営学科

本校では、県内で生産される多彩な農畜産物等を学習対象としており、卒業論文では自分が興味のある農畜産物の生理生態や栽培方法を深く学び、生産現場での課題解決に挑戦することができます。

### 2 安心・快適な学習環境と確かな進路実現

#### (1) 教職員がサポート

各学科では、県内の生産現場に精通した教職員が、学生一人ひとりの夢の実現に向けて、基礎的な知識から高度な技術の習得をサポートします。

#### (2) 快適なキャンパスライフ

アグリ探求棟や学生寮などの施設をはじめ、学生自らが学び、仲間と交流できる快適な学習環境を提供します。

#### (3) 個々の希望に応じた手厚い進路支援

就農・就職・進学といった多様な目標に応じた、きめ細やかな支援を行います。

就農希望者には、関係機関と連携し、就農計画の作成や支援制度の活用等を助言するとともに、就農サポート支援員による個別相談や農業法人とのマッチング等も行います。

### 3 実習メインの実践的なカリキュラム

#### (1) 農業経験ゼロでも大丈夫

非農家出身者や農業高校以外から入校する学生でも、入校当初から段階的に学べるよう、農業の基礎知識や農業機械の基本操作などのカリキュラムを準備しています。

#### (2) 「農場を経営する」実践教育

卒業論文では、学生一人ひとりに割り当てられたほ場、ハウス等で、生産管理から加工・販売までの一連の過程を自ら体験します。

#### (3) 最先端の農業技術を習得

スマート農業等の最新の農業技術について、新設されたスマート農業トレーニングフィールドでの実習等を通じて、理解を深めるとともに、スマート農機の操作方法を習得します。

#### (4) 資格・免許取得をサポート

農業経営に役立つ資格・免許(大型特殊自動車免許、けん引免許、毒物劇物取扱者、簿記検定、家畜人工授精師など)の取得をサポートします。

#### (5) 先進的な農業経営体や海外の農業情勢を調査研修

農業情勢の変化や国際化に対応できる経営能力の習得や幅広い視野を身につけるために、県内外の先進経営体や海外の視察を行います。



# 水田経営学科

定員：15名程度

水稲、小麦、大豆、ソバ、いも類などの食用作物を主体とした土地利用型農業で必要になる専門知識や技術、経営管理について学びます。



ジャガイモの収穫



ソバの収穫



水稲の収穫



田植え

## 主な作物

水稲、小麦、大豆、ソバ、いも類

## 主な実習内容等

4月	水稲育苗、ジャガイモ植付
5月	水稲移植、麦類出穂調査、サツマイモ植付
6月	水稲除草、大豆播種、麦類収穫、畦畔管理
7月	水稲追肥、大豆播種、ジャガイモ収穫、畦畔管理
8月	水稲出穂調査、大豆病害虫防除、ソバ播種、畦畔管理
9月	水稲収穫、大豆病害虫防除、畦畔管理
10月	水稲収穫、サツマイモ収穫、麦類播種
11月	ソバ収穫、大豆収穫、収穫調査、品質調査
12月	土壌分析演習、加工演習、卒論設計開始（1学年）
1月	卒論完成（2学年）
2月	卒論設計完成（1学年）
3月	種子準備、肥料・農薬計算

1 学年では、講義と実習を通して食用作物の栽培や加工に関する基礎知識を身につけます。

また、水田の高度利用やスマート農業技術についても学びます。

2 学年では、水稲または畑作物を研究対象にした卒業研究に取り組みます。

卒業研究を通して、農業技術の総合的理解を深め、課題解決能力や論理的思考力を習得することを目指します。



# 野菜経営学科

定員：15名程度

県内の野菜生産を担う人材を育成するため、主要な施設・露地野菜を中心に、生産販売に必要な知識・技術・経営管理を学びます。



イチゴの定植



キュウリの接ぎ木



サツマイモの収穫



電気柵の設置

## 主な作物

トマト、キュウリ、アスパラガス、ブロッコリー、ホウレンソウ、ネギ、タマネギ 等 37 品目

## 主な実習内容等

4月	収穫調製(促成トマト・アスパラガス等)、育苗・ほ場準備(春夏作)
5月	収穫調製(促成トマト・キュウリ)、ほ場準備・定植(夏秋トマト・キュウリ)
6月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製
7月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、育苗(秋作)
8月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、ほ場準備・定植(秋作)
9月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、播種・育苗(秋冬作)
10月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、定植(秋冬作)
11月	秋冬野菜の収穫調製、定植(促成トマト)、播種(葉菜類)
12月	卒論計画作成、収穫調製(葉菜類)
1月	卒論計画作成、育苗(促成キュウリ)
2月	卒論品目の栽培準備、接木・定植(促成キュウリ)
3月	卒論品目の栽培準備、育苗(春定植用)

1 学年では、講義と実習を通じて基礎的な技術・知識を習得するとともに、GAP（農業生産工程管理）について学び、また、各種研修等により先進技術を学習します。

2 学年では、専門的な講義と実習により高度な知識、技術を身に付けることに加え、卒業論文研究を通して、情報収集、課題解決、データ分析、論理的思考等の各能力を醸成して実践力を身に付けます。



## 果樹経営学科

定員：10名程度

果樹の専門的な知識、技術及び経営管理の習得により、県内の果樹産業を担う人材を育成します。



ナシの収穫



モモの摘葉



ナシの選果



リンゴの人工受粉

### 主な作物

モモ、二ホンナシ、ブドウ、カキ、リンゴ

### 主な実習内容等

4月	接ぎ木(切り継ぎ)、防霜対策、貯蔵花粉発芽率調査、花の採取・開花、花粉の貯蔵
5月	着果管理、予備摘果、仕上げ摘果
6月	リンゴ・モモ・ナシ果実肥大調査(収穫まで)、樹相診断、ナシ予備枝誘引
7月	修正摘果、出荷調整(ふじ収穫まで)、モモ果実品質調査、ナシ防鳥対策
8月	ブドウ・ナシ果実品質調査、リンゴ防鳥対策
9月	接ぎ木(芽接ぎ)、礼肥施肥
10月	カキ果実品質調査
11月	リンゴ果実品質調査、基肥施肥
12月	花芽分化率調査、接ぎ穂採取・保存
1月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
2月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
3月	土壌改良資材散布、モモ摘らい

樹種複合経営と高品質果実の安定生産の実現に向け、モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの栽培方法と販売方法を2年間で習得します。

また、ブドウとカキで取り組んでいるGAPについて、実践を通してその手法を身に付けます。



## 花き経営学科

定員：10名程度

県内の主要花きを中心に専門的知識、技術および経営管理について学びます。また、直売実習等を通じて流通・販売についても学びます。



畑地性カラーの球根消毒作業



シクラメンの販売準備



新鉄砲ユリの調製作業



現地で宿根カスミソウを見学

### 主な作物

キク、宿根カスミソウ、ダリア、キンギョソウ、苗物、シクラメン 等 25 品目

### 主な実習内容等

4月	一年草播種、キクさし芽、シクラメン鉢上げ
5月	定植ほ場準備、一年草・キク・球根類定植
6月	切り花収穫(宿根カスミソウ等)、シクラメン鉢上げ、苗物出荷
7月	切り花収穫(キク等)
8月	切り花収穫(キク、ダリア等)
9月	切り花収穫(キク、ダリア等)
10月	苗物・シクラメン出荷、切り花収穫(キンギョソウ等)
11月	シクラメン出荷、球根類の掘上げ・貯蔵、キク親株準備
12月	シクラメン播種、切り花収穫(キンギョソウ等)
1月	切り花収穫(キンギョソウ等)
2月	切り花収穫(キンギョソウ等)、シクラメン育苗、枝物促成
3月	切り花収穫(キンギョソウ等)、キクさし芽、土壌分析

1 学年では、切り花・鉢花・苗物の栽培に必要な基本技術・知識を習得し、需要期出荷のための開花調節や収量向上技術、花きの品質向上のための花き日持ち認証の取り組みなどを学びます。

2 学年では、卒業論文研究で問題解決能力を高めるほか、花きに関する先進技術や流通、経営管理について学びます。



# 畜産経営学科

定員：10名程度

自家就農や農業法人への就職により畜産経営を実践する人材を育成します。

### 主な家畜

乳用牛、肉用牛



牛体測定



搾乳作業



飼料給与



除糞作業

### 主な実習内容等

4月	肥育素牛導入 トウモロコシの播種	<b>家畜の飼養管理</b> 飼料給与 健康状況の観察 搾乳 発情兆候と行動観察 分娩の兆候と介助 除ふん 牛の保定とけん引 投薬 <b>牛体測定</b> <b>子牛・廃用牛の出荷</b> <b>飼料の調製</b> <b>畜舎の環境美化</b>
5月	肥育牛除角 1番草収穫	
6月	2番草収穫	
7月	暑熱対策	
8月	トウモロコシの収穫	
9月	家畜の審査	
10月	牧草播種 稲わら収集	
11月	肥育牛出荷	
12月	寒冷対策、削蹄	
1月	わら収納	
2月	家畜人工授精講習会（2学年）	
3月		

自家就農や農業法人への就職により農業経営を実践する人材を育成するため、乳用牛、肉用牛を対象とした家畜の飼養管理をはじめとして、自給飼料生産、耕種部門との連携、安全・安心な畜産物生産など、畜産経営に必要とされる専門的な知識を幅広く学び、技術を習得します。また、家畜人工授精師の資格取得を目指します。

## ～在校生からのメッセージ～ 私たちと農業を学びませんか？

「知らないことを恐れなくていい。」

アグリカレッジ福島は、農業を一から楽しく、詳しく学ぶことができる学校です。不安なこと、分からないこと、沢山あると思いますが大丈夫です！

優しい先生方、頼りになる先輩方、そして一緒に農業を学ぶ仲間がいます。みんなと協力して多方面から農業を学び、経験が出来るのがこの学校の魅力です。

2年間はあっという間ですが、楽しみながら一緒に農業を学びませんか！



水田経営学科 國分 矜矢



花き経営学科 菅野 静希

私は普通科高校出身ですが、農業に興味を持ち、この学校に入学しました。初めての事ばかりでついていけるのかと毎日不安でしたが、先生や先輩方の丁寧な指導のおかげで、知識と共に技術も身につけ、毎日が楽しいと感じています。同じように普通科高校からの入学が不安な方も、きっとすぐに学校生活に慣れ、農業の奥深さや楽しさを実感できると思います。あなたもここで農業を学び、魅力を間近で感じてみませんか。



## 主な年間行事



球技大会



植付祭



先進農家等留学研修



直売実習



櫛隆祭



収穫祭



意見発表会



卒業論文発表会



海外農業研修

## 年間行事予定

月	前期	月	後期
4	始業式 入学式	10	始業式 櫛隆祭
5	卒業論文設計発表会 スポーツ大会	11	意見発表会 収穫祭 球技大会
6	植付祭 学生自治会総会 学生寮自治会総会 先進農家等留学研修	12	卒業論文発表会 学生自治会総会 学生寮自治会総会 冬期休業
7	学校記念日 オープンキャンパス	1	東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
8	夏期休業 オープンキャンパス 先進農家等留学研修	2	全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会 後期試験
9	前期試験	3	卒業記念講演 卒業式 春期休業

## 学生の1日

	寮生	通学生
7:00	起床	登校 授業準備
7:45 ~ 8:30	朝食	
8:20 ~ 8:50	授業準備	
8:50 ~ 10:20	授業(1校時)	
10:30 ~ 12:00	授業(2校時)	
12:00 ~ 13:00	昼食	
13:10 ~ 14:40	授業(3校時)	
14:50 ~ 16:20	授業(4校時)	
16:30 ~ 17:15	補講(5校時)、課外活動 (クラブ、自治会活動ほか)	
17:20 ~ 18:20	夕食	帰宅
18:20 ~	自由時間(入浴、自主学習、バイト等)	
23:00	門限	
23:30	就寝	

## 履修科目

教養科目	共通	数学基礎、国語表現、体育、英語コミュニケーション、農業と情報、福島の農業、特別講義	285時間
	択一選択	就農講座Ⅰ・Ⅱ or 農業法人等就職講座Ⅰ・Ⅱ	
専門科目	共通	農業経営、農業法規、農業関連産業論、簿記概論、農業情勢、土壌肥料概論、農業機械、農業機械基礎実習、農業機械操作実習Ⅰ、マーケティング論、鳥獣害対策、食品製造、スマート農業実践、GAP概論、卒業論文	480～705時間 (うち、実習90～225時間)
	自由選択	毒物劇物取扱者資格講座、簿記検定講座、刈払機・アーク溶接安全衛生教育、フォークリフト運転技能講習、農業機械操作実習Ⅱ、進路対策講座	
	水田 野菜 果樹 花き 学科共通	農業概論、病害虫基礎、植物生理、環境保全と農業、有機農業、農産物流通、農学実験	
	水田	先進農家等留学研修、水田経営研修、作物経営実習、水田経営基礎、水田経営応用、水田経営実践、食品製造演習	1,635時間 (うち、実習1,350時間)
	野菜	先進農家等留学研修、野菜経営研修、野菜経営実習、野菜生産概論、野菜栽培各論、野菜経営各論、食品製造演習	
	果樹	先進農家等留学研修、果樹経営研修、果樹経営実習、果樹生産概論、果樹栽培各論、果樹経営各論、食品製造演習	
	花き	先進農家等留学研修、花き経営研修、花き経営実習、花き生産概論、花き栽培各論、花き経営各論、フラワーデザイン演習	
	畜産	畜産概論、家畜育種学、家畜繁殖学Ⅰ・Ⅱ、家畜栄養学、家畜衛生学、畜産環境保全、家畜解剖生理学、家畜解剖実験、先進農家等留学研修、畜産経営研修、畜産経営実習、飼養管理基礎、飼料作物、食品製造演習	
(択一選択)	乳用牛飼養管理技術応用、乳用牛経営 or 肉用牛飼養管理技術応用、肉用牛経営		

## 実践学習体系(経営実習・卒業論文)

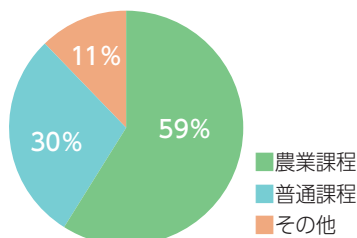
	時期	主要な教育目標	主な学習内容
1学年	前期(4月～9月) 適応力養成期間	<b>自主性の養成</b> 農業の基礎技術・知識を習得し、学習目標を持つ。	○基礎知識：教養科目、土壌肥料概論、農業概論、GAP概論、農業機械基礎実習など基礎知識の早期習得 ○生産現場の理解：先進農家等留学研修で農業観や職業観を養う
	後期(10月～3月) 実践力養成期間	<b>主体性・実践力の養成</b> 農業の魅力を実感し、将来の経営目標を設定する。	○専門知識：専門分野各論、スマート農業、食品製造、海外農業研修など ○進路準備：就農講座Ⅰ/就職講座Ⅰ、資格取得(簿記、毒劇物など) ○研究開始：卒業論文設計(課題設定と計画策定)に着手
2学年	前期(4月～9月) 実践力アップ期間	<b>豊かな人間性と主体性の確立</b> 卒業研究を通じ、課題解決手法と経営感覚を養う。	○卒業研究：栽培や調査により、実践力を養う ○経営力強化：農業経営、マーケティング論、農産物流通など ○技術と応用：スマート農業の実践と応用、有機農業 ○免許取得：農業機械操作実習(大型特殊免許取得など)
	後期(10月～3月) 総括期間	<b>実践力のある農業者の育成</b> 優れた経営感覚を醸成し、学業を総括する。	○社会性と法規：農業法規、農業情勢、環境保全など ○集大成：卒業論文のとりまとめや発表により、論理的思考力と自己表現能力を養う

## 学生概況・学生数 ( )内は女子

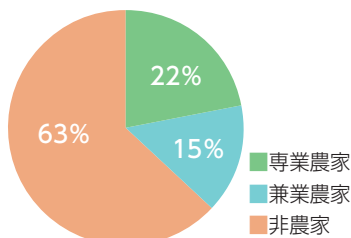
	水田経営学科	野菜経営学科	果樹経営学科	花き経営学科	畜産経営学科	合計
1学年	13 (0) 名	9 (0) 名	8 (0) 名	5 (2) 名	6 (4) 名	41 (6) 名
2学年	15 (2) 名	14 (4) 名	9 (2) 名	7 (3) 名	5 (1) 名	50 (12) 名
合計	28 (2) 名	23 (4) 名	17 (2) 名	12 (5) 名	11 (5) 名	91 (18) 名

## 学生内訳

①出身高校課程別



②農家・非農家別



③出身地域別

区分	人数	区分	人数		
				人数	人数
県内	県北	26名	県外	栃木県	1名
	県中	24名		埼玉県	2名
	県南	13名		東京都	3名
	会津	14名		愛媛県	1名
	南会津	0名			
	相双	2名			
	いわき	5名			

## 令和7年度までの卒業生 ( )内は女子

本科	1,995 (467) 名
研究科*	107 (18) 名

\*平成28年で廃止

## 卒業生の進路(過去3年間)

卒業後の進路	卒業年度	就農			就職					進学	その他	合計	
		自家	法人	研修	農業団体・農協	関連産業	他産業	公務員	臨時職員				大学等
	令和7年度	3名	18名	0名	5名	4名	6名	5名	0名	0名	0名	0名	41名
	令和6年度	5名	21名	2名	3名	9名	6名	4名	0名	0名	0名	3名	53名
	令和5年度	5名	16名	0名	3名	12名	4名	4名	0名	1名	0名	0名	45名

就農	自家	県内各地
	法人等	(有)荒井農産、(農)アグリ大日、(株)I love ファームおだか、会津農匠(株)、あかい菜園(株)、(株)イーテック、(有)加藤牧場、かなもと青果(株)、かわうちワイン(株)、(農)グリーンカルチャー、(株)紅梅夢ファーム、(福)こころん、(株)サイトウ農産、(株)佐久間牧場、(株)佐藤農場、(株)塩田ファーム、シャインコースト(株)、(株)しろはとファーム、(株)蔵王高原牧場、(株)トロピカルトマト、(株)なかつ農園、(有)仁井田本家あぐり、(株)ビーフジャパン、(農)ひかり、(有)光、(株)福島タネセンター、ベルグアース(株)、ベルグ福島(株)、(株)ベルファーム、(株)穂乃和元気ファーム、(株)的場アグリサービス、マルナカファーム(株)、マルヤス産業(株)、(株)みちのく白河農園、美土里耕産(株)、(株)森ファーム、(株)山市農産、(有)横田農園、(株)吉野家ファーム福島、(株)蓬田、渡辺果樹園
	研修	チャルジョウ農場
農協・農業団体	JAふくしま未来、JA福島さくら、JA夢みなみ、JA東西しらかわ、JA会津よつば、JA全農福島、(一社)穀物検定協会、(株)全農ビジネスサポート、NOSAI福島、(公社)福島県畜産振興協会、福島県酪農業協同組合	
農業関連産業	JAライフクリエイト、(株)エイジック、グラントマト(株)、コープ食品(株)、(株)郡山大果青果、(株)コメリ、(株)埼玉原種、スガノ農機(株)、住化農業資材(株)、(株)ダイユーエイト、(株)東北むらせ福島工場、(株)原町中央青果市場、(株)フィオレピア、(株)福島県食肉流通センター、(株)南東北クボタ、ヤンマーアグリジャパン(株)、酪王協同乳業(株)	
他産業	(株)IDOM(ガリバー)、上新電機株、ゼビオ(株)、(株)タイヨー、ツルハホールディングス(株)、(株)帝装化成、日本精工(株)、東洋ワークセキュリティ(株)、(株)日向、平和交通(株)、(株)ベルワット、(株)ライフランド、(株)オートアールズ	
公務員	(独法)家畜改良センター、(独法)農研機構、福島県公立学校実習助手、福島県農場管理員、福島県動物管理員、会津坂下町役場	
進学	放送大学	

# アグリカレッジ福島 Q&A

<p><b>Q 受験を考えているのですが、学校の見学は可能ですか？</b></p> <p>A 土・日・祝祭日、学校行事日を除いていつでも可能ですが、前もって御連絡いただきますようお願いいたします。ほか、オープンキャンパスを7/25（土）、7/29（水）、8/2（日）の3日間開催予定です。ぜひお申込みください。 (担当：農業経営部教務管理 TEL 0248-42-4113)</p>	<p><b>Q 食事について教えてください。</b></p> <p>A 食堂では朝、昼、夕の指定時刻に利用することができます。ただし、土曜日、日曜日、祝祭日、学校指定休日のほか、週明け最初の朝食と週末の夕食の提供はありませんので、各自で用意する必要があります。</p>																																														
<p><b>Q 私の家は農家ではなく、農業の知識もありませんが、入校できますか？</b></p> <p>A 大丈夫です。令和8年4月時点で、62%の学生が非農家出身です。農業を知らなくても卒業までに農業の知識、技術が習得できるよう段階的になカリキュラムを組んでいます。1学年の前期には作物・園芸・畜産の概論など、農業の入門的な科目から始め、併せて農機具の使用法、施肥の仕方など農業の基本となる実習を行います。後期からは各専門分野の科目履修が始まり、2学年では専門分野の講義、実習となります。</p>	<p><b>Q インターネットは使用できますか？</b></p> <p>A 学生寮・学生ホールに学生用Wi-fiを整備しており、無料で利用できます。</p> <p><b>Q 自家用車の持込はできますか？</b></p> <p>A 寮生・通学生ともに持ち込むことができます。ただし、持込みに際しては学校の許可が必要です。</p>																																														
<p><b>Q 私の家は福島県外ですが、入学はできますか？</b></p> <p>A 福島県外の方でも入学可能です。</p>	<p><b>Q 海外農業研修について教えてください。</b></p> <p>A 海外農業研修については選択制で実施しています。令和7年度はオーストラリアまたは台湾で実施しました。海外農業研修を選択した場合は下記所要経費とは別に、行き先にもよりますが約35万円必要です。</p>																																														
<p><b>Q 受験の手続きはどうすればいいですか？</b></p> <p>A 詳しくは学生募集要項を御確認ください。募集要項については本校ホームページの他、県内各高等学校又はお近くの農林事務所農業振興普及部、農業普及所にお尋ねください。</p>																																															
<p><b>Q 学生寮について教えてください。</b></p> <p>A 本校は、入寮を希望する学生が利用できる寮があります。令和7年より新しい寮に移行し、全110室（男子寮3棟、女子寮2棟）あります。寮は1人部屋でエアコン付き、このほかに共同の浴室、トイレ、洗面室、キッチン、共用スペースがあります。充実した寮生活を過ごせるよう学生寮自治会という学生自治組織が主体となり運営されています。</p>																																															
<p><b>Q 入学金や授業料、在学中にかかる所要経費はどのくらいですか？</b></p> <p>A</p> <table border="1" data-bbox="233 1361 1375 1588"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>区分</th> <th>入校料</th> <th>授業料</th> <th>学習経費※1</th> <th>後援会・同窓会</th> <th>食費</th> <th>自治会費 月1800円</th> <th>寮費 (年額)</th> <th>寮諸経費※2 月20,000円</th> <th>計※4</th> <th>(海外農業 研修費)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1学年</td> <td>寮生</td> <td rowspan="2">5,650円</td> <td rowspan="2">118,800円</td> <td rowspan="2">373,400円</td> <td rowspan="2">60,000円</td> <td>320,000円</td> <td rowspan="2">21,600円</td> <td>18,500円</td> <td>258,000円</td> <td>1,175,950円</td> <td rowspan="2">(350,000円)</td> </tr> <tr> <td>通学生</td> <td>130,000円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>709,450円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2学年</td> <td>寮生</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">118,800円</td> <td rowspan="2">179,400円</td> <td rowspan="2">60,000円</td> <td>300,000円</td> <td rowspan="2">21,600円</td> <td>18,500円</td> <td>251,500円</td> <td>947,800円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通学生</td> <td>120,000円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>499,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>直近の徴収額を基にした概算です。経費の納入は、1年分を一括もしくは分割で納めていただきます。          ※1 校外研修費、教材費、被服費、資格取得費用、保険等          ※2 寮自治会費（月6,500円）、光熱水費（実費）等。光熱水費については見込であり、不足・超過があった場合は後期の経費徴収時に調整します。          ※3 学習経費、食費、寮諸経費（光熱水費等）は預かり金です。残額があれば卒業時に返金します。          ※4 海外研修費は含みません。</p>		学年	区分	入校料	授業料	学習経費※1	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮費 (年額)	寮諸経費※2 月20,000円	計※4	(海外農業 研修費)	1学年	寮生	5,650円	118,800円	373,400円	60,000円	320,000円	21,600円	18,500円	258,000円	1,175,950円	(350,000円)	通学生	130,000円	-	-	709,450円	2学年	寮生	-	118,800円	179,400円	60,000円	300,000円	21,600円	18,500円	251,500円	947,800円		通学生	120,000円	-	-	499,800円
学年	区分	入校料	授業料	学習経費※1	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮費 (年額)	寮諸経費※2 月20,000円	計※4	(海外農業 研修費)																																				
1学年	寮生	5,650円	118,800円	373,400円	60,000円	320,000円	21,600円	18,500円	258,000円	1,175,950円	(350,000円)																																				
	通学生					130,000円		-	-	709,450円																																					
2学年	寮生	-	118,800円	179,400円	60,000円	300,000円	21,600円	18,500円	251,500円	947,800円																																					
	通学生					120,000円		-	-	499,800円																																					
<p><b>Q 奨学金の利用や、授業料の減免等の措置は受けられますか？</b></p> <p>A (1) 日本学生支援機構の奨学金を利用することができます。          (2) 本校を卒業後、1年以内に農業経営を開始する、又は農産物を生産する会社に勤める等、条件を満たす場合は新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の給付を在学中に受けることができます（年間最大150万円、最長2年間）。          (3) 以下に該当する場合、入校料及び授業料が減額又は免除される場合がありますので御相談ください。          ①子供3人以上の世帯の学生          ②平成23年東北地方大平洋沖地震及び津波、令和元年度台風により甚大な被害を受けたと認められた方          ③大学等における修学支援に関する法律による認定（授業料等減免対象者の認定）の申請をした方</p>																																															

## 研修部

農業者及び就農を目指す方を対象とした研修を実施しています。

### 就農研修

県内で就農したい方や就農後問もない新規就農者等を対象に、農業に関する知識や技術等を習得する研修です。

#### 就農基礎コース



#### 就農専門コース



#### 長期就農研修



### 農産加工研修

加工に取り組む農業者等を対象に、農産物の加工に関する知識や技術等を習得する研修です。

#### 基礎コース



#### スキルアップコース (袋詰め食品を極める)



#### スキルアップコース (新たな技術の習得と技術の伝承)



### 農業機械研修

認定農業者等を対象に、大型特殊免許等の取得、農業機械の点検整備、農業機械の操作技術向上等を目指す研修です。

#### 大型特殊免許・けん引免許取得支援コース 技術基礎コース



#### 技術向上コース



詳しくはホームページで御確認ください。問い合わせ先：研修部 TEL：(0248) 42-4114

